

プログラム1日目（10月11日 土曜日）

幹事会（17:30～18:00）

イブニングセミナー
（18:00～19:00）

『地域包括ケアとネットワーク ～尾道方式の更なる進化を目指して～』

演者 佐野 弘子（特定非営利活動法人「天かける」地域連携担当理事）

司会 長谷川 直人（市立釧路総合病院 副院長）

懇親交流会（19:15～20:30）

プログラム2日目（10月12日 日曜日）

開会の辞（9:30～9:40）

会長 高平 真（市立釧路総合病院 院長）

セッション1 「医療情報・分析」
（9:45～10:17）

座長 牧野 憲一
（旭川赤十字病院）

1. 病理レポート台帳の電子化と医師事務作業補助者の関わり

1) 旭川赤十字病院 医療秘書課 2) 同 消化器内科 3) 同 メディカル・アシスタント室 4) 同 事務部
○原田 実佳¹⁾、藤井 常志²⁾、國本 雅之³⁾、小林 裕記⁴⁾、太田口 貴哉¹⁾、山田 浩貴¹⁾、大場 将玄¹⁾、
後藤 真¹⁾

2. 診療サポートとしてのNCD登録の取り組み

1) 社会福祉法人函館厚生院 函館五稜郭病院 医療情報課 2) 同 医療情報課 診療情報管理係
○坂本 勝¹⁾、佐藤 昌克²⁾、石田 智子²⁾

3. 退院時要約の記録の精度向上と14日以内の作成率向上への働きかけ

社会医療法人中村記念病院 診療情報管理室
○本間 大樹、上嶋 美樹、吉田 真澄、中村 博彦

4. 当院における院内がん登録 ケースファインディングの取り組み

市立釧路総合病院 事務局医事課 診療情報管理室
○碓井 夏海、大越 拓也、下田 麻奈美、近藤 祐太、天野 日左志、菅谷 和幸、長谷川 直人

セッション2 「感染管理」
(10:17～10:41)

座長 丹羽 潤
(市立函館病院)

5. 感染性医療廃棄物減量への取り組み
市立釧路総合病院 ICT委員会
○土師 美和
6. ICT ラウンドでの指摘と改善
1) 旭川赤十字病院 脳神経外科病棟 2) 同 感染管理室
○森田 翔¹⁾、篠田 珠美¹⁾、市川 ゆかり²⁾、平岡 康子²⁾
7. ICT 活動の成果 —当院の分離菌検出状況の推移—
市立釧路総合病院 ICT
○塚本 英範

セッション3 「医療連携」
(10:41～11:13)

座長 荒川 穰二
(北見赤十字病院)

8. がん終末期患者を地域で支える取り組み ～在宅緩和ケア地域連携パスを作成して～
1) 函館厚生院 函館五稜郭病院 訪問看護室 2) 同 緩和ケア看護室 3) 同 がん相談支援室
4) 同 退院サポート室 5) 同 病床管理室看護師長 6) 同 医療総合サービスセンター センター長
7) 同 医療総合サービスセンター 副センター長 8) 同 看護部長
○佐藤 洋子¹⁾、白川 直子¹⁾、中安 千佳子²⁾、高橋 玲子³⁾、井上 美佳⁴⁾、尾関 幸子⁴⁾、宇田 克己⁵⁾、
船山 俊介⁶⁾、坪谷 ミヨ⁷⁾、九嶋 圭子⁸⁾
9. 当院がん患者における来院経路について ～その特徴と傾向～
1) 社会福祉法人函館厚生院 函館五稜郭病院 医療情報課 診療情報管理係 2) 同 医療情報課
○佐藤 昌克¹⁾、石田 智子¹⁾、坂本 勝²⁾
10. 「旭川クロスネット」から「たいせつ安心i医療ネット」へ (第2報) —運用開始から半年—
1) 旭川赤十字病院 地域医療連携室長 2) 同 地域医療連携室 3) 同 院長
○新家 修¹⁾、大京寺 敦子²⁾、牧野 憲一³⁾
11. 医療連携相談室の再構築と退院支援の取り組み
市立釧路総合病院 医療連携相談室
○平原 普子、平井 裕美子

セッション4 「医療の質向上」
(11:13～11:37)

座長 子野日 政昭
(市立旭川病院)

12. まず現状を知る！効率性係数を用いた意識改革

- 1) JA 北海道厚生連 札幌厚生病院 医療情報課 2) 同 医事課
○飯田 則仁¹⁾、土屋 亮¹⁾、鳴海 正規²⁾

13. 「医療の質向上」を目指したバリエーション分析の試み

- 1) JA 北海道厚生連札幌厚生病院 クリティカルパス委員会事務局 2) 同 外科
○土屋 亮¹⁾、飯田 則仁¹⁾、高橋 昌宏²⁾

14. Quality Indicator (医療の質指標) を用いた医療マネジメント

- 1) 手稲溪仁会病院 医療情報課 兼 TQM 推進室 2) 同 経営管理部長 (TQM 推進室事務局長)
3) 同 特別補佐職 (前: 副院長・品質管理責任者・TQM 推進室長)
4) 同 整形外科部長 兼 品質管理責任者 (TQM 推進室長)
○宮下 新平¹⁾、東 嘉邦¹⁾、堀江 篤²⁾、酒井 圭輔³⁾、大野 和則⁴⁾

休憩

総 会 (11:55～12:10)

休憩

ランチョンセミナー
(12:30～13:30)

『人口減少社会に向かう日本の医療福祉の現状と将来予測 ー特に北海道に焦点を当ててー』

演 者 高橋 泰 (国際医療福祉大学大学院 教授)
司 会 高平 真 (市立釧路総合病院 院長)

共催：株式会社大塚製薬工場

休憩

セッション5 「人材育成・調査研究」
(13:45～14:17)

座長 猪股 千代子
(札幌市立大学 看護学部)

15. 冠動脈インターベーション後の生活習慣改善の要因に関する現状調査
～生活習慣改善行動が維持できている患者に焦点をあてて～
独立行政法人 国立病院機構 帯広病院 2病棟
○的場 貴子、山内 智恵、渡辺 江里
16. 未来の医療人を育てる取り組み ～カムバック・サーモン計画～
市立釧路総合病院
○加納 友子、佐藤 とよ子、渡辺 佐江子
17. 北海道の看護職を災害看護でつなぐ –北海道災害看護支援コミュニケーション EZO 看活動報告–
1) 独立行政法人労働者健康福祉機構釧路労災病院 看護部
2) 社会医療法人釧路孝仁会記念病院 看護部
3) 市立釧路総合病院 看護部 4) 札幌市立大学 看護学部 5) 北海道災害看護コミュニケーション
○梅川 恵美子^{1,5)}、川端 玉姫^{2,5)}、渡部 明代^{3,5)}、太田 晴美^{4,5)}
18. 短期滞在手術等基本料3の制度改正による影響の検証
市立釧路総合病院 事務局 医事課
○坪井 健、青木 恵理、木元 亮、佐々木 豪介、菅谷 和幸

セッション6 「医療安全」
(14:17～14:41)

座長 磯部 宏
(KKR 札幌医療センター)

19. 地域を巻き込み組織でとり組む無断離院時の対応
市立釧路総合病院
○渡辺 佐江子、大田 京子
20. 過去5年間における針刺し・切創の現状と課題 ～器材の正しい使用と廃棄に特化して～
市立旭川病院 医療安全管理課 感染対策
○桐 則行
21. 市内4病院による施設間医療安全相互評価ラウンドを実施して
市立釧路総合病院
○太田 京子、渡辺 佐江子

閉会の辞 (14:45～)

会長 高平 真 (市立釧路総合病院 院長)